

同窓生のための会報誌

和敬会だより

第21号



鎌倉女子大学和敬会

〒247-8511 鎌倉市岩瀬 1420

☎ 0467-44-2111

和敬会HP **鎌倉女子大学** **検索**

<http://www.wakeikai.net/>

「百年を思う者は人を育てる」 実行プランへのご協力をお願い

理事長 福井 一光



学校法人鎌倉女子大学は、創立八十年を迎える2023年に向けて、「百年を思う者は人を育てる」実行プランを立案し、その第一期五年計画（2018年度～2022年度）として、戦災から復興した岩瀬キャンパスの総合的な再整備に着手しました。その整備内容につきましては、昨年度の会報でお知らせした通りです。

かつて、学父・松本尚先生の時代には、本学は、寄付募集をしないことを旨としておりました。特に保護者の皆さまに対しては、授業料や施設費を頂いているわけですから、それ以上のご負担をお願いする寄付募集には慎重でなければならぬといった想いがあったのだと思います。

私の恩師は天才的な教育者であると同時に、天才的な経営者でありましたが、こう申されたことを子ども心によく覚えています。「私学に子弟を遣される保護者の方々は偉い、自分の子どもたちの月謝を払っているだけでなく、税金という形で他の人の子どもの月謝まで支払ってやっているのだから」。そのことは、今でも肝に銘じなければならぬと思っています。

しかし、時代は様変わりしまして、

昨今寄付募集は、その法人の実力の証明、更には評価の対象といわれるようになりました。文部科学省も私学振興共済事業団も各学校法人に積極的な寄付募集活動を促します。アメリカの優良大学などでは学校経営の7割を寄付で賄っていると聞きますので、次代を見据えて、文科省も財務省と折衝を繰り返し、所得控除だけでなく税額控除も制度化してくれたのでしょうか。

用途は、岩瀬キャンパスの再整備だけでなく、寄付者のご指定に応じて、教育研究など、有効に使わせて頂きます。個人寄付だけでなく、会社などを経営なさっている方で団体寄付という形をとりたいという場合には、控除制度を活用するために決算期とのタイミングも見計らわなければならぬと思いますので、ご都合の一番いい月年で結構です。

和敬会の皆さまには、よくご家族とご相談の上、ご無理のない範囲で、母校の発展のために、何卒ご協力をお願い申し上げます。

詳しくお尋ねの方は、「学校法人鎌倉女子大学経理部経理課（募金担当）」
／代表電話番号0467-441-2111
「11」にお問い合わせ下さい。

はじめまして

昭和49年度
家政学部児童学科卒

会長 深山喜美子



和敬会会員の皆様、はじめまして。
私は、昨年10月の和敬会総会で、会員の皆様からご承認をいただき、前任の金子会長の後を受け、大きなお役目を務めさせていただくことになりました。深山喜美子でございます。

10月14日には、会員の皆様と理事長先生はじめ教職員の皆様のご協力をいただき、無事に支部長会と和敬会総会・懇親会を開催することができました。多くの方々にご出席いただき、心から御礼申し上げます。

さて、理事長先生のご挨拶の中で、2023年の八十周年に向けた「創立八十周年記念事業 岩瀬キャンパス再

整備計画」のお話を伺いました。新しい岩瀬キャンパスの姿を映像を通して見せていただき、母校の発展充実していく姿を感慨深く拝見しました。参加された会員の皆様におかれましては、在学時代のことが走馬灯のように思い出されたのではないのでしょうか。卒業生にとつて、母校の発展は、とても嬉しく誇らしいことです。私たち卒業生も、母校の未来を一緒に応援してまいりますよう。

ところで、和敬会の運営は、これまで立派な成果を挙げてこられた前任の幹事の皆様からバトンを引き継ぎ、新幹事14名で新たにスタートしました。

これまでの和敬会の歴史を引き継ぎ、会員の皆様の声をお聞きしながら活動を工夫してまいります。

和敬会は、会員同士のつながりを深め、学校と同窓生をつなぐ役目があります。今年度も、和敬会だよりの発行、各支部への運営補助費の支給、ホームページの活用、関東支部設立準備、大学・中等部みどり祭参加など、卒業後の皆様の豊かなつながりのために活動してまいります。

会員の皆様には、これまで同様ご支援とご協力をいただけますよう、よろしく願います。

保育園園長として

昭和42年度 高等部卒業

酒井かず子(旧姓宮川)



和敬会の皆様、こんにちは。
私は高等部の3年間、お世話

話になりました。陸上部に在籍しながら薙刀も多くの大会に出場させていただき、本

に充実した3年間でした。お陰様で当時の仲間とは現在でも仲良くさせていただきます。楽しい時間を過ごしております。

高等部卒業後は、日本体育大学で体育教師の資格を取り、幼い頃からの夢であった中学校の体育教師として8年間、青春の全てをぶつけ無我夢中で過ごして参りました。

31歳の時に、父の跡を継ぎ、社会福祉法人浜岳福祉会金目保育園の園長に就任いたしました。この時期、3歳と

1歳の子どもをかかえ、子育てと仕事の両立の悩みから、同じような立場にいる保護者の皆様の気持ちが手に取るように理解でき、皆様のお役に立ちたいという思いが強くなり、今では当たり前になりましたが、当時は未実施であった延長保育や一時預かりや子育て支援や学童保育を実施して参りました。現在は地域開発による子育て世代人口の急増対策として、第2保育園と第3学童を開設すべく計画を進めている最中です。

質の高い保育を行い、継続していくためには、資質ある保育士が必要で、母校の鎌倉女子大学からは、保育士や

栄養士を採用させていただき、本当に感謝しております。また、実習生からは学校の様子などを伺い、鎌倉女子大学の発展と内容の充実、質の高さや心遣い等を感じ、嬉しく思っております。2018年3月末日にて園長を娘に引き継ぎ、私は理事長としての活動のみとなりました。現役時代の忙しさとは違い、少しゆとりの持てる立場となりました。

鎌倉女子大学には採用等で今後もお世話になりますが、どうぞよろしくお願いたします。そして、和敬会の皆様には、ますますお元気で活躍されることを心より願っております。

総会の報告

平成30年10月14日
松本講堂

和敬会総会の朝、温かな日射しのふり注ぐ中を、銀杏の葉を踏みしめながら、全国より多くの同窓生が集いました。

総会
次第
開会のことば
黙祷
会長挨拶
お祝いのことば
学校法人鎌倉女子大学 理事長
新会員挨拶
議事
松本尚先生 生誕百年記念目録贈呈
校歌斉唱
閉会のことば
特別講演 草野 仁氏
懇親会



懐かしい学び舎

早朝に降っていた雨もやみ、卒業生の皆様も軽やかな足取りでお見えになりました。「同級生が来ているかしら」「卒業して40年の節目なので来させてほしいわ」と弾むような声が聞こえてきたり、恩師を見つけ一気に学生の顔に戻ってしまったり、会場内そこかしこで再会を喜ぶ姿がありました。今回の総会では、希望する方に大船キャンパスの見学ツアーを行いました。松本生太先生にゆかりのある品々や本学の歴史を展示している展示室では、「懐かしいわ」「そういえばこんなものがあったわね」と足をお止めになり、写真やパネルに見入っていました。写っている方からは、「こんな環境で勉強ができる学生は幸せね」と羨む声が聞こえました。また、大学内の一部の講義室には、設立当初から使用している「木の机」があります。その懐かしい「木の机」をご覧になり、「場所や建物は変わっても、母校には変わりないわね」と嬉しいお言葉をいただきました。総会、特別講演、懇親会、大船キャンパスツアー等盛りだくさんの内容でしたが、ごなたも終始笑顔で過ごされ、大変盛況な総会となりました。平成17年度 児童学部子ども心理学科卒業 校内幹事 松本みどり

再会の喜び

鎌倉の地に降りたとたん、学生時代のこと走馬灯のごとく頭を駆け巡ります。思い起こせば40数年が経ち、懐かしい光景が蘇ってきました。心躍らせ大学の門をくぐると一瞬に和敬寮の生活、楽しい仲間にも恵まれて過ごした生活にタイムスリップしていました。卒業以来、学友との連絡が途絶えていましたが、「和敬会だより」をきっかけに、役員の方にご苦勞をいただき40数年ぶりに友人と再会することができ、感激で胸一杯になりました。初めて参加した総会では、当時と変わっていない友人に、初恋の人と再会したかのように、ドキドキしたのを覚えています。また、多くの会員の方にも楽しいひと時を過ごすことができ、私にとって思い出深い「感動の会」となりました。今後多くの会員との交流を大切にしていきたいと思えます。大学卒業後は、40年間幼稚園教育に携わってきました。退職し現在は、初任者の育成に関わる中、孫達と楽しく有意義に過ごしています。

最後になりましたが、鎌倉女子大学の益々のご発展と和敬会会員の皆様のご多幸とご健勝を、沖繩（石垣）の空からお祈りいたします。
昭和47年度 短期大学部初等教育科卒業 迎里 裕美子（旧姓福仲）

新入会員の挨拶

私は、昨年度の3月に鎌倉女子大学児童学部を卒業いたしました。本学を修了してから、卒業生が集い、交流することがある機会があるということ、とても光栄なことであると、改めて感じております。

大学に在学中は、卒業生である諸先生方の多岐にわたる活躍を拝聴する度に、尊敬の念がわきおこり、先輩の方々の背中にも少しも追いつけるように頑張らなければと奮起したことを、昨日のことのように覚えております。そして、まだ見ぬ未来の自分の姿を想像し、将来への希望を胸に抱きながら、信頼できる先生方、仲間とともに充実した学生生活を送っていたものでした。歴史あるこの鎌倉の地において、伝統ある本学で勉学に励むことができたのは、先輩の方々が学校の伝統を大切に受け継いで下さったからと、心より感謝しております。

現在私は、鎌倉女子大学幼稚園で幼稚園教諭として勤務をさせていただいております。日々新しいことに出会い、挑戦しながら、「教諭」として「一人」として成長できるように、一日一日を大切に過ごさせていただいております。今後は、鎌倉女子大学で学んだことを、子どもたちに伝え、そして先輩方のように学び続ける姿勢を常に持ち続けたいと思います。

菅原先生とともに

「断らないでください」と突然先生からお電話をいただき、以来40年以上にわたり和敬会の仕事を引き受けてまいりました。和敬会の思い出の一つとして、先生とともに各地方支部会に参加し、地方の方言を交えながら会員の皆様とお話することができました。九州では柳原白蓮先生のお部屋等を見学し貴重な体験をさせていただきました。

菅原先生の厳しい中にも温かなご指導を仰ぎ、ずっと菅原先生と歩んでまいりました。菅原先生ありがとうございました。今後の和敬会の一層のご発展を祈念しております。
昭和26年度 高等部卒業 旧幹事 吉田美智子

て、精進していきたいと思っております。そして、和敬会の一員として、微力ではありますが、私なりの努力で、貢献していきたいと考えております。ぜひ、今後とも先輩の方々から沢山勉強させていただきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。
平成29年度 児童学部 児童学科卒業 校内幹事 舟山さくら



校歌斉唱



特別講演 草野仁氏



新入会員挨拶



懇親会



見学会（大船キャンパス）

「第三回支部長会」報告

平成30年10月13日、総会の前日に「支部長会」を開催しました。9支部のうち北海道・東北・甲信越・北陸・関西・中国四国・九州・沖縄の13名にご参加いただき、和敬会幹事18名計31名が集いました。

金子会長の挨拶、新旧幹事の紹介、深山新会長から新体制へ向けての挨拶がありました。

次に、各支部から自己紹介や近況報告と活動における課題や問題点をあげていただき、支部の活性化を図るための話し合いをしました。

各支部ともに会員の把握と連絡の取り方に苦心され、支部会への参加が少ないことが共通の問題点でした。ホームページを活用し、支部会の活動報告をして会員増と活性化に繋げていこうと話合いました。

初等部から大学院までの卒業生すべてが和敬会会員です。皆様の周りに卒業生がいらっしゃいましたら、



大船「パラッツォ ヴィオラ」にて



ぜひお声かけをお願いいたします。また転居の際には、支部長にも連絡をお願いいたします。

他支部との情報交換や学生時代の懐かしい思い出話をしながら会食をし、総会前夜祭のような和やかな支部長会となりました。遠方よりお越しくださった各支部の方々、ありがとうございました。

昭和62年度 児童学部児童学科卒
旧幹事 清水真由美

支部長を受けて



昭和49年度
短期大学部初等教育科卒
西野 幸子
(旧姓塚越)

村川先輩にこれ以上お願いするのは申し訳なく、力不足な私ですが支部長をお引き受けしました。

卒業して40数年、神奈川の自宅から通学していましたが、結婚で札幌に住むようになりはや40年です。

例えば、北海道支部の一員として過ごした期間の長いこと。松本尚先生来道の折の感激だった間近での再会。松本紀子先生、お嬢様がお見えになった時の和やかで楽しいひととき。当時は緊張して聞いていた菅原憲子先生の今はすっかり穏やかで優しい物腰のお話。北海道支部の同窓会、札幌近隣の集まりでの共通の話題からそれぞれの時代のエピソードまで。

いつも思うことは、
「私は京浜^{*}で学べてよかった」と誇りに思えることでした。

これを機に、多くの同窓生の皆様との出会いや同期の方々との再会を楽しみに、少しでもお役に立てればと努めます。よろしく願っています。

^{*}京浜とは鎌倉女子大学の旧名称

支部だより 第7回 北海道支部

支部だより 次回(第8回)は沖縄支部です

地方支部・支部長

北海道支部	西野 幸子
東北支部	三浦 ゆか
甲信越支部	松井千津子
北陸支部	橋本 玲子
東海支部	勝呂眞理子
関西支部	永橋 馨
中国・四国支部	櫻井 早苗
九州支部	金子真由美
沖縄支部	伊藝美智子

和敬会より

平成29年度 和敬会収支決算書

収入の部

費目	金額
同窓会費	6,788,000
預金・利子	114,274,779
前年度繰越金	1,492,140
合計	122,554,919

支出の部

費目	金額
和敬会便り出版費	5,432,216
支部費	334,158
ホームページ費	84,672
みどり祭	748,339
運営費	619,418
事務費	310,000
設備・備品費	—
通信・連絡費	125,951
消耗品費	62,240
和敬会館光熱費	120,000
慶弔費	—
学校寄付	10,000,864
支出合計	17,837,858
繰越金	104,717,061
合計	122,554,919

上記の通り相違ないことを報告いたします。
平成30年6月19日

会計監査

田中 幸子 (印)
吉崎 陽子 (印)

お見舞い
平成30年は大阪府北部地震・西日本豪雨災害・北海道胆振東部地震と自然災害が多い年でありました。被災地でお過ごしの方の和敬会会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。平成も2019年には新元号に変わり、新たな歴史が始まります。皆様にとりまして新しい時代が恵みの多い時代となりますよう祈念しております。

新役員紹介

平成30年10月14日、和敬会総会で新役員が承認されました。平成最後の年から新しい年へ皆で力を合わせて努めてまいります。

会長	深山 喜美子(澁谷)
副会長	望月 一恵(長島)
幹事	吉崎 陽子(中山)
	坂田 映子(三浦)
	中山 弘子(菊池)
	菊池 貞子(飯島)
	鈴木 公美子(印南)
	山中 喜恵子(内田)
	富永 知佐子
	佐藤 晴美(疋)
	最上 千恵子(加藤)
	森 淳子(平澤)
	濱名 哲郎
事務局	金子 小夜美

平成29年度 和敬会収支決算報告等

平成29年度の収支は次の通りです。
主な収入は同窓会費です。
支出の主な項目は ①和敬会だよりを3万余名に発送 ②名簿管理 ③支部の運営補助 ④ホームページの運営 ⑤大学みどり祭「カフェ和敬会」に参加、卒業生の憩いの場を提供 ⑥松本尚先生、生誕百年を記念し学校の発展のため一千万円を寄付。
また、松本尚先生顕彰基金として一億一千万円を特別会計としていましたが、平成29年度から本会計に計上しました。
併せて平成30年度活動報告・予算案等も和敬会総会で承認されました。

事務局からのお願い

和敬会の皆様には年1回「和敬会だより」をお送りしていますが、近年あて先不明による戻りが増えています。

次の事由が発生した場合は、和敬会事務局まで、書面(ハガキ、封書など)又はホームページからご連絡をお願いいたします。

- 住所の変更
- 住居表示の変更
- 氏名の変更

また、これらに該当する卒業生の情報をご存知の方は、皆様からお伝えいただけると幸いです。ご協力をよろしくお願いいたします。

連絡先

【あて先】 鎌倉女子大学和敬会事務局

【住所】 〒257-8511

神奈川県鎌倉市岩瀬1420番地

【ホームページ】 <http://www.wakeikai.net>

「名簿管理変更届」より入力してください

住所変更以外の電話対応につきましては、毎月第1、第3火曜日の10時～14時に事務局が在室しております。

【和敬会事務局電話番号】 050-1092-0473

第24回 鎌倉女子大学学園祭「みどり祭」



岩瀬キャンパス



岩瀬キャンパス 中・高等部



岩瀬キャンパス 初等部



大船キャンパス



大船キャンパス

みどり祭
2019年度開催
第25回鎌倉女子大学学園祭

岩瀬キャンパス	中・高等部	9月14日(土)
幼稚園・初等部	11月9日(土)	10日(日)
大船キャンパス	大学・短大	11月2日(土)
		3日(祝・日)

和敬会は、中・高等部 大学・短大のみどり祭で「カフェ和敬会」として参加しています。
お誘い合わせのうえお越しください。



大船キャンパス カフェ和敬会

在校生の活動報告

中・高等部

- マーチングバンド部
「第46回全国大会」 金賞・編成別最優秀賞
- 弓道部
「第15回全国中学生弓道大会」 出場
「全日本少年少女武道(弓道)錬成大会」 優秀賞
- フェアリーコンサート部
「第24回日本管楽合奏コンテスト全国大会」 優秀賞

初等部

- 6年生「第52回神奈川私立小学校陸上記録会」
100m走 第1位 (14秒64)
80mハードル 第1位 (15秒93)
走り幅跳び 第1位 (4m02cm)
ソフトボール投げ 第1位 (30m)

公開講座

鎌倉女子大学生涯学習センターでは、生涯にわたり、学び、学習活動の場として公開講座を開催しています。卒業生の皆様もぜひ参加してみたいはいかがでしょうか。講座内容は鎌倉女子大学ホームページ「生涯学習センター」をご覧ください。



鎌倉女子大学

<http://www.kamakura-u.ac.jp>

大船キャンパス	大学院	大学	家政学部 児童学部 教育学部	短期大学部
	〒247-8512 鎌倉市大船6丁目1番3号 TEL.0467-44-2111 (代表)			JR「大船駅」下車、徒歩8分
岩瀬キャンパス	高等部	中等部	初等部	幼稚園
	〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420 TEL.0467-44-2200 (代表)			JR「大船駅」下車、バス約10分